資料番号	地域10

令和８年11月19日
課　名　地域政策局国際課
担当者　担当課長（平和推進担当）山本
内　線　2365

核兵器禁止条約再検討会議への参加について

１　要旨・目的

11～12月に米国ニューヨークの国連本部で開催される核兵器禁止条約（ＴＰＮＷ）再検討会議に知事が参加し、県やへいわ創造機構ひろしま（ＨＯＰｅ）の取組を発信することにより、国連・各国政府関係者等へ核兵器廃絶に向けた働きかけを行う。

２　現状・背景

ＴＰＮＷは、核兵器禁止の法的規範の確立を目指した条約で、締約国による核兵器の開発、実験、製造、取得、保有、使用・威嚇を法的に禁止する。2021年に発効し、令和８年10月現在、署名国・地域が96、批准国・地域が75となっている。

これまで2022年、2023年、2025年に締約国会議を開催し、条約の実施や締結状況、核兵器計画の検証・不可逆的な廃止のための措置等について議論を行ってきた。

今回の再検討会議は、条約の規定に基づいて初めて開催されるもので、条約の運用や条約の目的達成に向けての進捗状況について議論を行う。

会期は令和８年11月30日（月）～12月４日（金)。

なお、知事は11月28日（土）に現地入りして必要な用務を行うとともに、11月30日（月）～12月２日（水）まで会議に参加する。

３　内容

(1)　実施主体　広島県、ＨＯＰｅ

(2)　場所　　米国ニューヨーク　国連本部等

(3)　取組内容

ア　サイドイベントの開催

主催：広島県、ＨＯＰｅ、核兵器廃絶国際キャンペーン（ＩＣＡＮ）

日時：12月１日（火）13:15～14:30

概要：核兵器に依存しない安全保障への道筋を明らかにするため、ＨＯＰｅとＩＣＡＮが共同で進めている研究プロジェクトの初期調査の結果を報告する。
また、具体的な政策の検討を深めるため、各国政府、国際機関、研究者、市民社会等と意見交換を行い、研究への連携・協力を呼びかける。

イ　核禁止フォーラムへの参加

主催：ＩＣＡＮ

日時：11月29日（日）9:30～17:00

会場：ニューヨーク市内

概要：ＴＰＮＷを軸に核兵器廃絶を目指す市民フォーラムに参加し、被爆地として核兵器廃絶の必要性を訴えるとともに、核抑止に頼らない安全保障の構築に向けた県・ＨＯＰｅの取組を発信し、各国の市民社会に連携と協力を呼びかける。

ウ　国連・各国政府関係者等との協議

核抑止に頼らない安全保障の構築に向けた研究や、次の国連目標に核兵器廃絶を位置付ける取組など、広島県・ＨＯＰｅの取組について、国連関係者や各国政府関係者等と意見交換を行い、連携・協力を働きかける。

(4) 派遣者

知事、ＨＯＰｅ職員ほか

※この他、県議会議長が参加される予定

(5) スケジュール（調整中）

月　日 (現地時間)	行　事	場　所
11 月 28 日（土)	（メキシコ・グアナファト州から移動）	ニューヨーク
11 月 29 日（日）	核禁止フォーラムへの参加	ニューヨーク
11 月 30 日（月）	会議傍聴 国連・各国政府関係者等との協議	ニューヨーク
12 月１日（火）	サイドイベント開催 国連・各国政府関係者等との協議	ニューヨーク
12 月２日（水）	会議傍聴 国連・各国政府関係者等との協議	ニューヨーク
12 月３日（木）	（移動）	－
12 月４日（金）	（移動）	－

(6) 予算（単県）

１２，８９４千円

４　参考

国際平和拠点ひろしま ホームページ（国際社会への働きかけ）

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimaforpeace/about-outreach.html